

明治から令和

小樽漕艇

百年の歩み

小樽漕艇協会

## 小樽漕艇協会創立100周年を迎えて

小樽漕艇協会 会長 大滝俊次

大正10年1月設立された小樽漕艇協会は本年100周年という節目を迎えますが日頃よりご支援ご協力を賜っております皆様にご心より感謝を申し上げます。

そして、ボートを愛し情熱を注いでくれた諸先輩はじめ多くの皆様のご努力により築かれた輝かしい歴史と伝統に深く敬意を表したいと存じます。

省みますと、小樽のボートの始まりは明治20年代中頃と伝えられております。

ボート(昔は端艇と呼んでいた)競技大会の開催は、『北の商都小樽の発展を』との願いから日本郵船や北海道炭鉱汽船、各銀行、商店連盟をはじめとする経済界の意気込みが計り知れないものであったと考えられます。

日本漕艇協会が創立された翌年の大正10年、北海道の雄としての気概が沸き上がり小樽中学ボート部OB諸氏や経済界等含めた官民一体の協会が華々しく創立されたのであります。

爾来、全国優勝を目標に掲げ躍動した大正15年から第1期黄金時代、戦後復興を目的に新たな想いが結集

された昭和21年からの第2期黄金時代等、その偉業の大きさにボート王国小樽とも言われるまでになりました。しかしながら、昭和39年(1964年)の第18回オリンピック東京大会以降、よりスピードが求められる種目の変更が度々行われ、小樽港内の練習環境では大変厳しいものとなっているのも実情です。

この記念誌は、卓越した指導力のもと厳しい練習に耐えながら数々の偉業を成し遂げてこられました選手皆様の熱き姿が歴史の一遍として刻まれております。

ボート競技は決して華やかなスポーツではありませんが、現代社会の中において肉体的にも精神的にも耐久力がものをいうとの観点から高評価を得られているところとであります。

小樽漕艇協会会員一同、様々な環境の変化があろうとも新たな100年に向かって夢、希望を膨らませながらボート普及に邁進して行きたいと決意を新たにしているところです。

令和3年1月

小樽漕艇協会

百年の航跡

# 小樽漕艇協会の航跡

年度

航跡

(全国大会競技名、開催地、成績、選手名など)

## ■小樽のボートの発祥

小樽は港町であるためボート(昔は端艇とよんでいた)が持ち込まれたのは古く、明治一九年八月二八日北海道端艇会が発足して競漕会が開催され、優勝旗の争奪戦が行われたと伝えられている。その点横浜で日本で最も早くボートが始められたのと似ている。又それだけ当時町全体の経済力もあつたのであろう。日本人だけのレースの記録としては明治一六年隅田川に於いて天皇陛下の行幸を仰いで海軍のカッターレースが行われたし、明治二〇年には第一回一高対高商の対抗レースが開催されたのに較べると小樽に於けるレースは地方としては古い方である。

## ■小樽に於けるボートレース

明治二九年(一八九六年)八月二八日第一回北海道端艇競漕会が小樽に於いて開催された。当時の小樽のボート界は日本郵船、北海道炭礦汽船、各銀行、商店連盟等の対抗レースで炭礦汽船クルーが最も強かったと伝えられている。

## ■小樽中学(現小樽潮陵高校)にボート部誕生

明治三六年、小樽中学に伏波組と称する有志のクルーが誕生した。翌二七年の北海道端艇競漕会に初参加、二年目の明治三八年八月六日開催の第一〇回北海道端艇競漕会に初優勝した。この時はまだ正式には部として認められていなかったのであるが優勝したお陰で明治三九年には正式に部として認められた。この年も又優勝を飾り華々しいボート部のスタートをしたのである。

## ■小樽中学石狩川遠漕開始

この年、初めて石狩川への遠漕を試みたのである。その後、小樽中学端艇部の伝統として毎年決行され、記録は定かではないが滝川まで遡ったと伝えられている。

明治三九年  
(一九〇六年)

明治四〇年  
(一九〇七年)

大正八年  
(一九一九年)

■小樽中学 函館に遠征

小樽中学端艇部が函館端艇競漕会に初めて遠征し快勝したと記録されている。

大正九年  
(一九二〇年)

■日本漕艇協会設立

この年、大学に座席が前後にスライドする(滑席艇)シエルエイトの採用が決定された。

大正十年  
(一九二一年)

■小樽漕艇協会設立

野沢弘幸、吉田庚子郎、亀山喜八等発起人となり小樽漕艇協会が設立され会長に小樽高等商業学校長伴房次郎、理事長に北海製罐支配人野沢弘幸が就任、かくして協会主催の第一回小樽漕艇大会が開催され参加クルーは税関、日本郵船、小樽新聞社、農産物検査所、三井、三菱両銀行、北海製罐、小樽中学、樽中OBであった。

大正十一年  
(一九二二年)

■北海製罐小樽初の新艇庫を建設

ちなみに小樽中学では艇庫がなく毎年冬期間は屋内運動場に保管し春になると全校生徒で艇を勝納川尻の砂浜まで運んでいた。このボート運搬が小樽中学の伝統ある名物ともなっていた。

大正十四年  
(一九二五年)

■小樽より初めての道外遠征 準決勝

明治神宮大会(固定席艇競漕大会)は大正十二年より毎年十一月二日を中心に隅田川向島を会場として行われていた。この第二回大会に小樽中学が初めて遠征することになった。この遠征は当時一高の学生であった岸道三が母校を参加させるべく同期生勝山義利、吉田庚子郎、小林定正等に呼びかけて遠征費用の募金及び技術指導などの援助によつて実現した。

■北海製罐社内ボート大会開催

各職場別に代表クルーを作り合宿練習までする熱心さで多い時には二〇クルーにも及んだ。従業員やその家族、会社の音楽部の楽団などで第一防波堤において終日会社挙げての一大レクリエーションを催した。

小樽中学校										
監督	今井	道三	岸	渡辺	渡辺	安立	久保	大西	飯田	補欠
コーチ	市蔵	佐久	武司	正雄	誠一	精次	祐次	鉄之助	藤	勉

大正十五年  
(一九二六年)

■小樽中学 明治神宮大会 (固定席艇競漕大会) に初優勝

大正十五年は天皇陛下御不例のため大会の開催が危ぶまれ、合宿練習も何回か取り止めるような状態であったが、東京の岸道三より神宮大会開催確実の報が入ったのは夏休みも終わりに近いころであった。その為選手は東京へ着くとすぐ利根川遠漕に行くことになり岸道三直接コーチをする熱の入れ方であった。恐らく小樽の選手で利根川遠漕をした最初のクルーであろう。第三回明治神宮大会は隅田川白鬚橋下より千三百米、一コース小樽中学、二コース本荘中学で決勝が行われ大接戦の末艇差二尺で小樽中学が初優勝を飾った。遠征二年目にして全国優勝した小樽中学クルーは全生徒の出迎えを受け小樽市中提灯行列を以てこの勝利を祝った。

昭和二十二年  
(一九二七年)

■小樽中学 二年連続全国優勝

九月二〇日の全国大会は隅田川の前年と同コースで行われ、この年も本荘中学と決勝で相見えたが三分の一艇身の差で優勝した。三位は横浜商業。

■北海製罐 (実業団の部) 全国初優勝

小樽中学の選手であった安立正雄、渡辺武司が北海製罐に入社するやボート熱は急速に高まり全国大会出場を決意するに至った。十月末第四回明治神宮大会は隅田川向島コースで行われ、関西の雄大阪祭原商店に二艇身半の差をつけて見事初優勝を飾った。

昭和二十三年  
(一九二八年)

■小樽中学 滋賀師範を破り全国三連勝

本年より全国大会を関東と関西交互に開催することになり八月二六日淀コースで行われ、関西の雄滋賀師範を二艇身の差で破り三連勝を飾った。

■北海製罐も二連勝

第三回一般固定席艇全日本選手権大会は宇治川コースで行われ、決勝で日本蓄音器を大差で破り二度目の優勝を飾った。

小樽中学校							
監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番
田口	箕輪	西村	鮎田	佐藤	油谷	村上	清本
兼子	秋野	早崎	清水	清野	早野	秋野	兼子
操敏	正治	孝太	幸吉	良司	圭次	雄次	正敏
操敏	正治	孝太	幸吉	良司	圭次	雄次	正敏
操敏	正治	孝太	幸吉	良司	圭次	雄次	正敏

小樽中学校							
監督	副監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番
田口	箕輪	西村	鮎田	佐藤	油谷	村上	清本
兼子	秋野	早崎	清水	清野	早野	秋野	兼子
誠興	宥興	彰敏	正敏	雄次	圭次	良司	幸吉
誠興	宥興	彰敏	正敏	雄次	圭次	良司	幸吉
誠興	宥興	彰敏	正敏	雄次	圭次	良司	幸吉

北海製罐							
監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番
山本	白石	安立	渡辺	水島	高木	佐藤	美濃
啓三	猛夫	正雄	武司	健蔵	政司	四郎	秀五
啓三	猛夫	正雄	武司	健蔵	政司	四郎	秀五
啓三	猛夫	正雄	武司	健蔵	政司	四郎	秀五

北海製罐							
監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番
山本	岸立	安立	渡辺	久慈	高木	水島	美濃
啓三	正道	武司	迪雄	政司	健蔵	秀五	留次
啓三	正道	武司	迪雄	政司	健蔵	秀五	留次
啓三	正道	武司	迪雄	政司	健蔵	秀五	留次

小樽中学校							
監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番
今井	岸井	渡辺	渡辺	兵藤	久保	大西	箕輪
市蔵	道三	佐久	武司	誠一	祐一	正治	良司
市蔵	道三	佐久	武司	誠一	祐一	正治	良司
市蔵	道三	佐久	武司	誠一	祐一	正治	良司

昭和四年  
(一九二九年)

■小樽中学 圧倒的な強さで全国四連勝

八月二五日隅田川向島コースで行われた全国中学校選手権大会に於いて小樽中学は四年連続優勝を果たした。

■北海製罐も全国三連勝

第五回明治神宮体育大会兼第四回全日本選手権大会に於いて、決勝で大阪鉄道局に三艇身半の大差で優勝し、輝く三連勝を飾った。

昭和五年  
(一九三〇年)

■小樽中学 五年連続全国制覇なる

八月二四日固定席艇日本選手権大会は瀬田川千三百米コースで行われ、中学校の部に於いて小樽中学は遂に五連勝の偉業をなし遂げた。九月五日夜成果を祝し大々的提灯行列を全市にわたって挙行した。

■小樽鉄道倶楽部 (実業団の部) 初出場で初優勝

固定席艇日本セ主催大会実業団の部に出場の小樽鉄道倶楽部 (小樽築港駅) は初出場ながら見事に優勝した。

昭和六年  
(一九三一年)

■小樽中学 遂に破れ三位

八月二三日固定席艇全日本選手権は隅田川で行われたが、小樽中学は遂に東北中学に破れ六連覇の夢は消え去った。

■小樽鉄道倶楽部 全国二連勝

この年の全道予選会は小樽築港駅と手宮駅という鉄道クルー同士の激烈な競い合いの結果遂に手宮駅に凱歌があがり晴れの全国代表となった。

第六回明治神宮体育大会兼全日本選手権大会は隅田川で行われたが見事に優勝を飾った。

■北海製罐 シェルフオア全日本選手権大会兼オリンピック予選に出場惜しくも二位

小樽中学校						
補欠	船手	2番	3番	4番	5番	整調 舵手
不破	石河	本間	甲斐	高橋	浅木	大谷
巖	国	吉	六	太	健	武
夫	則	郎	一	三	雄	八
						郎

小樽鉄道倶楽部						
補欠	船手	2番	3番	4番	5番	整調 舵手
松本	神田	武田	山下	武田	合羽	小西
某	紀	(元)	利	武	隆	栄
一		雄	次	蔵	作	
						郎

北海製罐 (シェルフオア)						
補手	2番	3番	整調	舵手	コーチ	監督
箕輪	佐藤	石井	渡辺	安立	村上	
正治	四郎	健一	武司	正雄	勇次	郎

小樽中学校						
補欠	船手	2番	3番	4番	5番	整調 舵手
大谷	菅谷	高橋	甲斐	細川	林木	浅野
正八	重二	太一	六郎	正一	輝男	武雄
郎						郎
						郎

小樽鉄道倶楽部						
補欠	船手	2番	3番	4番	5番	整調 舵手
山口	本庄	原司	岡田	佐野	金子	小菊
孫	利	丈	清	三	利	浅
一	市	夫	吾	吉	長	次
						郎

小樽中学校						
補欠	船手	2番	3番	4番	5番	整調 舵手
秋野	林野	高橋	清水	村上	油谷	榎本
宥	輝	太一	正敏	雄次	圭夫	吉郎
興	男					郎
						郎

北海製罐						
補手	2番	3番	4番	5番	整調 舵手	コーチ 監督
高橋	永井	佐藤	笹田	森崎	箕輪	安立
貞	福	四	武	重	正	正
夫	司	郎	雄	忠	治	雄
						勇
						次
						郎

昭和七年  
(一九三二年)

■小樽中学 全日本中学校漕艇選手権大会で本荘中学に破れ二位  
 ■小樽鉄道倶楽部 遂に全国三連勝

この年も築港駅対宮駅の熱戦となったが築港駅が勝利を収めた。八月二八日固定席艇全日本選手権大会は塩釜港で行われ、築港駅は二年振り二度目の優勝を成し遂げた。これで鉄道倶楽部の名のもとに三連勝を飾り、北海製罐の三連勝と加えて実に小樽の実業団クルーは全国大会に於いて六連勝を成し遂げた。

■榎本吉夫(小樽中学出身) ロサンゼルスオリンピックに

早大エイトクルーの一員で出場

小樽中学校

補欠 補欠 船手 2番 3番 4番 5番 整調 舵手  
 丹朝大不西甲浅本播  
 保倉谷破島斐木間磨  
 健勝正巖栄六武吉音  
 栄重八 作郎雄則松  
 郎

小樽鉄道倶楽部

補欠 船手 2番 3番 4番 5番 整調 舵手 監督  
 岡川及高原佐金小太  
 部原川橋田野子林田  
 三留正保清利浅新弘  
 吉吉三 吾長次五  
 郎

昭和八年  
(一九三三年)

■北海製罐 再登場満鉄破り全国優勝

昭和五、六、七年の三年間出場を中止していたが、昭和六年の新社屋新艇庫完成と共に再び練習を開始、全道予選では前年全国優勝の鉄道倶楽部を破り代表となった。十月二六日第七回明治神宮体育大会は向島コース、四年振りの出場であつたが満鉄に一艇身の差で優勝した。

■北海製罐 シエルフォア全日本選手権出場二位(向島)

北海製罐

船手 2番 3番 4番 5番 整調 舵手 コーチ 監督  
 神渡森笹高永鎗村安  
 田辺崎田橋井水上立  
 熊惣重武貞福澄勇正  
 五蔵忠雄夫司夫次雄  
 郎 郎

北海製罐  
(シエルフォア)

船手 2番 3番 整調 舵手 コーチ 監督  
 浅渡石箕井村安  
 木辺井輪後上立  
 武武健正義勇正  
 雄司一治雄次雄  
 郎

昭和九年  
(一九三四年)

■小樽中学 固定席艇全日本選手権大会にて敗退

■北海製罐 台湾南部漕艇大会に出場し優勝

■北海製罐 シエルフォア全日本選手権出場二位(瀬田川)

■札幌漕艇協会発足

小樽中学校

船手 2番 3番 4番 5番 整調 舵手  
 牧高高川内丹三  
 野坂橋崎藤保宝  
 豊千 博健一  
 一代 栄之  
 松

北海製罐  
(シエルフォア)

船手 2番 3番 整調 舵手 コーチ 監督  
 谷浅石榎井竹安  
 口木井本後林立  
 末武健吉義貞正  
 作雄一夫雄吉雄

昭和十年  
(一九三五年)

■小樽中学 寸差の二位

固定席艇全日本選手権大会決勝で青森中学と争い、奮闘空しく四〇センチ差にて涙をのむ。

■北海製罐 朝鮮鉄道局を破り優勝

第八回明治神宮体育大会及び第十回全日本選手権大会は尾久コースで行われた。一般固定席艇は朝鮮鉄道局と大接戦の末僅か三〇センチ差で通算五度目の優勝を果たした。

■北海製罐女子クルー(固定席艇)第八回明治神宮体育大会に参加

■北海製罐シエルフォア 全日本選手権大会兼

オリンピック予選に出場二位(向島)

昭和十一年  
(一九三六年)

■小樽中学 決勝にて本荘中学に惜敗

全日本端艇選手権大会は塩釜で行われ決勝戦は好敵手本荘中学との六度目の顔合わせ、三分の一艇身の差で惜敗。

■ベルリンオリンピック開催

昭和十二年  
(一九三七年)

■小樽高等商業学校ボート部創設(現小樽商科大学)

■伴房次郎会長辞任し野沢弘幸就任

昭和十三年  
(一九三八年)

■東京オリンピックク返上

<p>北海製罐 (シエルフォア)</p> <p>監督 安立 善照 正雄 舵手 鈴木 善治 正治 四郎 健一 調整手 井本 佐藤 石井 3番 箕輪 佐藤 2番 佐藤 佐藤 1番 石井 石井 補欠手 石井</p>	<p>小樽中学校</p> <p>監督 英圭 圭三 修次 源次 収清 祐一 竹清 寛一 清一 義雄</p> <p>高谷 圭三 岡崎 修次 藤岡 源次 浦田 収清 工藤 祐一 若杉 竹清 山本 寛一 米谷 清一</p>
<p>北海製罐 (女子クルー)</p> <p>監督 正雄 卷子 正子 舵手 立野 榎子 富子 小野 富子 野口 榎子 小野 富子 山崎 榎子 大原 榎子 渡辺 榎子</p> <p>安立 善照 正雄 榎子 富子 小野 富子 野口 榎子 小野 富子 山崎 榎子 大原 榎子 渡辺 榎子</p> <p>常次 源次 知康 千代 祐清 博清 義雄 満雄 恭太郎</p>	<p>北海製罐</p> <p>監督 正雄 熊吉 福司 貞夫 武雄 末作 健二</p> <p>安立 野井 今野 永井 高橋 高田 高田 谷口 伊藤 渡辺 伊藤</p>

<p>小樽中学校</p> <p>監督 常次 源次 知康 千代 祐清 博清 義雄 満雄 恭太郎</p> <p>針田 榎子 高田 榎子 戸田 榎子 内藤 榎子 米谷 榎子 牧野 榎子 松村 榎子</p>
---

昭和十四年  
(一九三九年)

■小樽中学 準決勝にて敗退

本年より明治神宮国民体育中等大会は十一月三日明治節を期して行われることとなった。準決勝沼津中学とのレースで一挺身の差で破れた。

昭和十五年  
(一九四〇年)

■戸田コース完成

■小樽中学 第十一回明治神宮国民体育大会海洋競技(兼全日本) 決勝において

青森中学に惜敗

■小樽高等商業学校(現小樽商科大学) 全国大会初優勝

十一月二、三日、紀元二千六百年奉祝の第十六回固定席艇競漕大会が開催され、高専の部で小樽高等商業学校が初優勝を飾った。

昭和十六年  
(一九四一年)

■太平洋戦争始まる

昭和十八年  
(一九四三年)

■野沢弘幸会長辞任し大西慎一就任

昭和十九年  
(一九四四年)

■小樽港内でのボートの練習も禁止される

昭和二十年  
(一九四五年)

■終戦

小樽高等商業学校

監督 木不 調整 安相 片境 三境 2番 3番 4番 5番 船手 瑞穂

監督 木不 調整 安相 片境 三境 2番 3番 4番 5番 船手 瑞穂

監督 木不 調整 安相 片境 三境 2番 3番 4番 5番 船手 瑞穂

小樽中学校

監督 柳村 調整 橋境 藤内 伊川 2番 3番 4番 5番 船手 田中

監督 柳村 調整 橋境 藤内 伊川 2番 3番 4番 5番 船手 田中

監督 柳村 調整 橋境 藤内 伊川 2番 3番 4番 5番 船手 田中

昭和二十二年  
(一九四六年)

■第一回国民体育大会京都府を中心に開催される

小樽経専（現小樽商科大学）地元の滋賀師範を破り優勝

戦前の明治神宮大会は廃止され戦後の若者に活力を与えるための施策で新たに国民体育大会が創設された。その第一回大会のフィックス（固定席艇）高専の部に出場した小樽経専は地元滋賀師範を破って優勝し戦後最初の朗報を小樽にもたらした。  
この年大西慎二会長辞任し堀越一三就任

監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番	船手	補欠
玉井	佐々木	高張	梅原	小松	阿部	杉本	山名	本田	本田
武公	友三	卓三	成男	誠太	新太	良橋	寿郎	千寿	里

昭和二十二年  
(一九四七年)

■第二回国民体育大会（石川県 瀬田川）

高校男子フィックス  
小樽中学 予選敗退

大学高専男子フィックス  
札幌文科専門学院 初優勝  
全員小樽出身者の札幌文科専門学院は  
決勝で愛媛農専を破り初出場初優勝

一般男子フィックス

高島白鷗会 初出場で初優勝

高島町の漁師の青年達による異色のクルー、優勝候補の石巻造船所、長浜クラブ等破り初優勝

監督	舵手	整調	5番	4番	3番	2番	船手	補欠
横田	坂口	小林	平田	長束	中川	亀尾	神田	神田
淳一	義雄	久夫	有道	秀雄	英一	哲一	英一	英一

監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番	船手	補欠
須貝	今野	山口	菊池	加畑	小野	上野	池野	竹島	伊藤
富安	正吉	熊宜	能二	欣世	光道	昭三	良三	隆三	芳弘

監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番	船手	補欠
佐藤	成田	西島	上村	矢野	平野	渡辺	成田	成田	成田
安司	良治	漁太	正三	敬二	勇吉	三郎	順治	順治	順治

昭和三十三年  
(一九四八年)

■第三回国民体育大会（福岡県 今津湾）

高校男子フィックス

小樽高校（現小樽潮陵高校）  
十八年振りの優勝

大学高専男子フィックス

札幌文科専門学院 二年連続優勝

一般男子フィックス

小樽鉄道倶楽部（小樽築港）  
十六年振りの優勝

監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番	船手	補欠
横田	磯部	亀尾	木村	麻上	平田	加藤	右代	右代	右代
淳一	忠也	哲夫	初夫	信一	道夫	哲夫	功司	勝司	勝司

監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番	船手	補欠
木輪	今野	山口	菊池	加畑	黒野	上野	近藤	竹島	林島
元雄	正宜	能二	欣世	光世	英一	昭三	晃三	隆雄	竹道

監督	コーチ	舵手	整調	5番	4番	3番	2番	船手	補欠
金子	河野	鈴木	山木	原口	大田	青山	沼田	元木	元木
次郎	史郎	正男	孫一	清吾	重雄	峯太	俊一	辰男	辰男

昭和二十四年  
(一九四九年)

■第四回国民体育大会(東京都 戸田)

高校男子フィックス

小樽高校 今治西を破り輝く二連勝

一般男子フィックス

札幌文科専門学院 播磨造船を破り三年連続優勝

この年より座席が前後にスライドする滑席艇の

ナックルフォアが新種目として採用された。

■第五回国民体育大会(愛知県 中川)

高校男子フィックス

小樽潮陵高校 惜しくも三位

大学男子フィックス

札幌短大(前札幌文科専門学院)

一般男子フィックス

輝く四年連続優勝

北海製罐 十五年振りの優勝

この年、小樽千秋高校ボート同好会が正式に部として認められた。

昭和二十六年  
(一九五一年)

■第六回国民体育大会(広島県 宮島口)

高校男子フィックス

小樽潮陵高校 四位

一般男子フィックス

北海製罐 播磨造船を破り二連勝

一般男子ナックルフォア(滑席艇)

札幌大クラブ 新種目で初優勝

■第七回国民体育大会(福島県 荻野)

一般男子フィックス

北海製罐 三〇センチの差で二位

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 初出場

小樽潮陵高校						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
石田	藤野	中野	宮野	佐藤	池田	
紀之介	九萬二	弘二	清二	雄二	衛二	

小樽潮陵高校						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
佐野	藤越	中村	宮野	新宮	新宮	
尚郎	九二	弘二	功二	雄二	均二	

小樽高校						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
横本	磯部	加藤	木村	宮越	藤代	宮野
淳一	忠夫	哲郎	初夫	信一	功一	勝一

札幌短大						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
野田	長門	南川	鈴木	今藤	三浦	諏訪
元三	昭明	好紀	昌治	直明	恒博	義達

札幌大クラブ						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
工藤	根岸	山口	南山	上野	右代	鈴木
竹一	正宣	能紀	昌三	昭三	勝三	直治

札幌文科専門学院						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
木輪	野口	山池	菊木	鈴木	山田	武田
元雄	正吉	熊宜	能二	欣二	直治	良寿

北海製罐						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
立藤	加幡	八幡	千田	福田	山田	松木
正雄	善治	幸四郎	与好	勝二	弘高	常高

北海製罐						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
立藤	加幡	八幡	千田	荒田	山中	松木
正雄	善治	幸四郎	与好	邦夫	弘高	常高

小樽千秋高校						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
田治	河田	石地	森地	藤森	佐藤	小倉
清彦	吉観	将雄	文志	忠志	芳志	忠志

北海製罐						
舵手	整調	5番	4番	3番	2番	舳手
立藤	加幡	八幡	千田	荒田	山中	松木
正雄	善治	幸四郎	与好	邦夫	弘高	常高

昭和二八年  
(一九五三年)

■第八回国民体育大会(愛媛県 浅川海岸)

高校男子フィックス  
小樽潮陵高校 三位

一般男子フィックス  
北海製罐 優勝

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 東北高校の五連覇を  
阻み国体全国初優勝

一般男子ナックルフォア  
札大クラブ 優勝

この年、北海道選手権大会男子ナックルフォアで  
小樽桜陽高校が小樽千秋高校を破り初優勝した。  
第一回全国高等学校選手権大会(高体連)が開催された。

小樽潮陵高校						
触手	2番	3番	4番	5番	整調	監督
牧野	山下	土屋	佐藤	山田	山口	安立
義明	昌一	文治	正彦	健雄	進平	茂雄

小樽千秋高校						
補欠	触手	2番	3番	整調	舵手	監督
福岡	牧本	中野	荒井	工藤	高橋	上野
賢徳	靖夫	誠一	弘平	良久	昭敏	輝三

小樽桜陽高校						
触手	2番	3番	整調	舵手	コチ	監督
沢田	木下	山部	阿部	大淵	上野	徳永
英一	良三	俊博	力令	将三	昭三	昭三

北海製罐						
触手	2番	3番	4番	5番	整調	監督
田沢	松中	山谷	荒葉	千幡	八幡	加藤
季昌	常高	弘二	邦夫	与四	幸雄	善美

札大クラブ						
補欠	触手	2番	3番	整調	舵手	監督
松原	鈴木	右木	上代	南野	石川	工藤
良寿	直治	勝司	昭三	昌三	紀一	竹之介

昭和二九年  
(一九五四年)

■第二回全国高体連大会(滋賀県 瀬田川)

男子フィックス  
小樽潮陵高校 準決勝

■第九回国民体育大会(北海道 茨戸)

この年、国民体育大会が地元北海道で開催されることで  
各競技とも大変な熱の入れ様であった。

高校男子フィックス  
小樽潮陵高校 五年振りの優勝

一般男子フィックス  
北海製罐 戦後通算四度目の優勝

高校男子ナックルフォア  
小樽千秋高校 浦和商業に破れ二位

一般男子ナックルフォア  
札大クラブ 四位

小樽千秋高校						
触手	2番	3番	整調	舵手	コチ	監督
山沢	斎藤	牧本	工藤	福岡	上野	八田
貢也	幸夫	靖平	良徳	賢三	昭敏	清治

小樽潮陵高校						
補欠	触手	2番	3番	4番	5番	整調
松島	笹子	渡辺	土屋	佐藤	山田	横山
稔夫	郁一	謙治	文彦	正彦	健雄	昌一

札大クラブ						
〃	〃	補欠	触手	2番	3番	整調
川浪	本間	嶋田	鈴木	右木	上代	南野
輝悦	虎勝	斎治	直司	勝三	昭三	昌一

北海製罐						
触手	2番	3番	4番	5番	整調	監督
田沢	松中	山谷	荒葉	千幡	八幡	加藤
季昌	常高	弘二	邦夫	与四	幸雄	善美

昭和二八年  
(一九五三年)

■第八回国民体育大会(愛媛県 浅川海岸)

高校男子フィックス  
小樽潮陵高校 三位

一般男子フィックス  
北海製罐 優勝

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 東北高校の五連覇を  
阻み国体全国初優勝

一般男子ナックルフォア  
札大クラブ 優勝

この年、北海道選手権大会男子ナックルフォアで  
小樽桜陽高校が小樽千秋高校を破り初優勝した。  
第一回全国高等学校選手権大会(高体連)が開催された。

小樽潮陵高校						
触手	2番	3番	4番	5番	整調	監督
牧野	山下	土屋	佐藤	山田	山口	安立
義明	昌一	文治	正彦	健雄	進平	茂雄

小樽千秋高校						
補欠	触手	2番	3番	整調	舵手	監督
福岡	牧本	中野	荒井	工藤	高橋	上野
賢徳	靖夫	誠一	弘平	良久	昭敏	輝三

小樽桜陽高校						
触手	2番	3番	整調	舵手	コチ	監督
沢田	木下	山部	阿部	大淵	上野	徳永
英一	良三	俊博	力令	将三	昭三	昭三

北海製罐						
触手	2番	3番	4番	5番	整調	監督
田沢	松中	山谷	荒葉	千幡	八藤	加立
季昌	常高	弘二	邦夫	与四	幸雄	善美

札大クラブ						
補欠	触手	2番	3番	整調	舵手	監督
松原	鈴木	右木	上代	南野	石川	工藤
良寿	直治	勝司	昭三	昌三	紀之	竹一

昭和二九年  
(一九五四年)

■第二回全国高体連大会(滋賀県 瀬田川)

男子フィックス  
小樽潮陵高校 準決勝

■第九回国民体育大会(北海道 茨戸)

この年、国民体育大会が地元北海道で開催されることで  
各競技とも大変な熱の入れ様であった。

高校男子フィックス  
小樽潮陵高校 五年振りの優勝

一般男子フィックス  
北海製罐 戦後通算四度目の優勝

高校男子ナックルフォア  
小樽千秋高校 浦和商業に破れ二位

一般男子ナックルフォア  
札大クラブ 四位

小樽千秋高校						
触手	2番	3番	整調	舵手	コチ	監督
山沢	斎藤	牧本	工藤	福岡	上野	八田
貢也	幸夫	靖平	良徳	賢三	昭敏	清治

小樽潮陵高校						
補欠	触手	2番	3番	4番	5番	整調
松島	笹子	渡辺	土屋	佐藤	山田	横下
稔夫	郁一	謙治	文彦	正彦	健雄	昌一

札大クラブ						
触手	補欠	2番	3番	整調	舵手	監督
川浪	本間	嶋田	鈴木	右木	上代	南野
輝悦	虎勝	斎治	直司	勝三	昭三	昌一

北海製罐						
触手	2番	3番	4番	5番	整調	監督
田沢	松中	山谷	荒葉	千幡	八藤	加立
季昌	常高	弘二	邦夫	与四	幸雄	善美

昭和三十年  
(一九五五年)

■第三回全国高体連大会 (福島県 荻野)

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 強豪浦和商业高校の三連覇を阻み  
全国高体連初優勝

■第十回国民体育大会 (神奈川県 相模湖)

一般男子フィックス

小樽築港機関区 三位

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 接戦の末惜しくも二位

一般女子ナックルフォア

双葉ローイング・クラブ 初出場で四位

■第四回全国高体連大会 (滋賀県 大津石場)

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 準決勝

■第十一回国民体育大会 (兵庫県 相生湾)

一般男子フィックス

東洋木材 初出場で初優勝

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 二度目の優勝

一般男子ナックルフォア

札大クラブ 七位

一般女子ナックルフォア

双葉ローイング・クラブ 大健闘二位

我が国では初めての女子のクラブクルー、結成二年目にして見事二位に入賞した。

東洋木材							
監督	コーチ	舵手	調整	5番	4番	3番	2番
箕輪	浅木	石岡	阿部	牧部	斎藤	森	佐々木
正治	武雄	行夫	力	靖也	幸也	博幸	政幸
欣弥							

双葉ローイング・クラブ							
監督	コーチ	舵手	調整	3番	2番	補欠	
工藤	上野	佐藤	橋口	高橋	佐藤	中野	鈴木
昭一	千重子	好子	倪子	翠子	千重子	美智子	

小樽千秋高校							
監督	コーチ	舵手	調整	3番	2番	補欠	
八野田	上野	福岡	工藤	牧本	斎藤	山沢	
清三	昭徳	賢平	良平	靖也	幸也	貢	

双葉ローイング・クラブ							
監督	コーチ	舵手	調整	3番	2番	補欠	
工藤	上野	佐藤	藤野	佐藤	高橋	山妻	朝野
昭一	千重子	翠子	倪子	玲子	千鶴子	千重子	

小樽千秋高校							
監督	コーチ	舵手	調整	3番	2番	補欠	
脇本	上野	丸山	迫山	竹生	牧本	勝見	
秀吉	昭三	伸一	純一	勇吾	弘己	友昌	

小樽築港機関区							
監督	舵手	調整	5番	4番	3番	2番	補欠
阿部	松木	鈴木	小島	鈴木	逢木	菊池	加藤
国夫	武三	清男	勝明	靖志	隆三	三夫	善久

■第五回全国高体連大会(福島県 荻野)

男子フィックス  
小樽潮陵高校 準決勝

男子ナックルフォア  
小樽千秋高校 二位

■第十二回国民体育大会(静岡県 佐鳴湖)

高校男子フィックス  
小樽潮陵高校 三位

一般男子フィックス  
東洋木材 二年連続優勝

高校男子ナックルフォア  
小樽千秋高校 二位

一般男子ナックルフォア  
札大クラブ 五位

高校女子ナックルフォア  
小樽千秋高校 六位

一般女子ナックルフォア  
北海製罐 女子クルー初出場で三位

<p>小樽千秋高校 (女子ナックルフォア)</p> <p>触手 2番 3番 整番 舵調手 コーチ 監督</p> <p>酒坂宮松天上脇 井上地浦野野本</p> <p>暁由敏俊華昭秀 子起子恵代三吉 子</p>	<p>小樽千秋高校 (男子ナックルフォア)</p> <p>触手 2番 3番 整番 舵調手 コーチ 監督</p> <p>勝牧竹迫伊脇 見本生 藤本</p> <p>友弘勇純守秀 昌己吾一 吉</p>	<p>東洋木材</p> <p>触手 2番 3番 4番 5番 整番 舵調手 コーチ 監督</p> <p>林松森斎牧阿石浅箕 浦 藤本部岡木輪</p> <p>博清博幸靖力行武正 光昭 也夫 夫雄治</p>
<p>北海製罐</p> <p>触手 2番 3番 整番 舵調手 コーチ 監督</p> <p>大喜金浜工山 久田田岡藤中 保</p> <p>八紀利紀君弘 重子子美子二 子</p>	<p>札大クラブ</p> <p>触手 2番 3番 整番 舵調手 コーチ 監督</p> <p>鈴木佐南嶋上工 木下野川田野藤</p> <p>直良正昌斎昭竹 治三樹紀 三一</p>	<p>小樽潮陵高校</p> <p>補触手 2番 3番 4番 5番 整番 舵調手 監督</p> <p>堀山色村金秋佐小吉佐 江塙摩田山田竹林田藤</p> <p>忠寿英文栄博正康竜春 彦生明夫治彦紀信三夫 郎</p>

■第八回全日本社会人実業団選手権大会 東洋木材(男子フィックス) 初優勝

■第六回全国高体連大会(愛知県 勘八峡)

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 予選

■第十三回国民体育大会(富山県 浜大津)

一般男子フィックス

東洋木材 輝く三年連続優勝

高校男子ナックルフォア

小樽桜陽高校 予選

一般男子ナックルフォア

札大クラブ 四位

一般女子ナックルフォア

北海製罐 四位

<p>小樽桜陽高校</p> <p>監督 小野田 忠雄 舵手 金子 英徳 整調 白石 清修 3番 石川 金明 2番 高橋 与一 触手 直江 敏三 補欠 本間 貞三</p>	<p>東洋木材</p> <p>監督 浅木 正治 コーチ 石岡 武雄 舵手 阿部 力行 整調 牧部 靖夫 5番 齋藤 幸也 4番 松浦 昭一 3番 迫松 清一 2番 林 純一 触手 藤森 博文 補欠 森 博光</p>
<p>北海製罐</p> <p>監督 山田 弘二 舵手 藤岡 君美 整調 金田 利美 3番 喜田 紀子 2番 大田 八重子 触手 佐藤 保子 補欠 倉田 信子</p>	<p>札大クラブ</p> <p>監督 上野 昭三 舵手 高橋 敏三 整調 佐藤 樹三 3番 佐藤 正樹 2番 勝藤 吉則 触手 鈴木 友昌 補欠 南川 昌紀</p>

■第九回全日本社会人実業団選手権大会 東洋木材(男子フィックス) 二位

■第七回全国高体連大会(福島県 荻野)

男子フィックス

小樽潮陵高校 敗復

男子ナックル

小樽千秋高校 二位

■第十四回国民体育大会(東京都 戸田)

高校男子フィックス

小樽潮陵高校 八位

一般男子フィックス

東洋木材 遂に四年連続優勝

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 二位

一般男子ナックルフォア

札大クラブ 五位

この年、東洋木材クルーは国体四連勝を果たし北海道スポーツ賞を受賞した。

<p>小樽千秋高校</p> <p>補 舳 2 3 整 舵 監 欠 手 番 番 調 手 督</p> <p>土渡伊佐遠伊脇 井辺津藤山藤本 見 英仁栄康正守秀 勝 重博章 吉</p>	<p>東洋木材</p> <p>舳 2 3 4 5 整 舵 監 手 番 番 番 番 調 手 督</p> <p>林秋松斎牧迫石浅 田浦藤本 岡木 博博清幸靖純行武 光彦昭也夫一夫雄</p>
<p>札大クラブ</p> <p>補 舳 2 3 整 舵 監 欠 手 番 番 調 手 督</p> <p>南鈴丸佐勝木高上 川木山藤見下橋野 昌直伸吉友良久昭 紀治一則昌三敏三</p>	<p>小樽潮陵高校</p> <p>補 舳 2 3 4 5 整 舵 監 欠 手 番 番 番 番 調 手 督</p> <p>阿箕池佐小荒松横吉佐 辺輪田藤野虫島山田藤 勝英一功靖昭睦隆竜春 也雄男 二彦夫義三夫 郎</p>

昭和三五年  
(一九六〇年)

■第十回全日本社会人実業団選手権大会 東洋木材(男子フィックス)二位

■第八回全国高体連大会(鳥取県 錦海)

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 二位

■第十五回国民体育大会(熊本県 荒瀬ダム)

一般男子フィックス

東洋木材 旭電化に破れ二位、五連覇の夢破れる

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 四位

一般女子ナックルフォア

三馬ゴム 初出場ながら六位

この年、堀越一三会長辞任し吉村伝次郎が就任

昭和三六年  
(一九六一年)

■第十一回全日本社会人実業団選手権大会 三馬ゴム(女子ナックルフォア)三位

■第九回全国高体連大会(静岡県 相模湖)

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 四位

■第十六回国民体育大会(秋田県 秋田運河)

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 五位

高校女子ナックルフォア

小樽双葉高校 初出場で二位

スキー選手で構成されたクルーであるが運動神経に物を言わせ見事に入賞

一般女子ナックルフォア

三馬ゴム 堂々の二位

小樽中学出身の岸道三(初代道路公団総裁) 日本漕艇協会の会長に就任

東洋木材

監督 箕輪 正治  
コーチ 浅岡 武夫  
舵手 石岡 行夫  
調整番 迫本 純一  
5番 牧本 靖夫  
4番 斎藤 幸昭  
3番 松浦 昭彦  
2番 秋田 博光  
触手 林田 博光

小樽千秋高校

監督 脇本 昌吉  
コーチ 勝見 友三  
舵手 浦田 等  
調整番 伊藤 重  
3番 佐藤 克己  
2番 佐野 英勝  
触手 色摩 徳

三馬ゴム

監督 友三 郎  
舵手 史子  
調整番 幸子  
3番 貞子  
2番 はつ子  
触手 節子  
補欠 久子  
森村 泰子

双葉高校

監督 岩田 勉吉  
コーチ 脇本 秀吉  
舵手 岩田 信子  
調整番 藤沢 和子  
3番 百合 嘉子  
2番 伊藤 智恵子  
触手 田中 順子

三馬ゴム

監督 友三 郎  
舵手 史子  
調整番 幸子  
3番 貞子  
2番 はつ子  
触手 節子  
補欠 久子  
森村 泰子

小樽千秋高校

監督 秀吉 昭三  
コーチ 脇本 昭三  
舵手 浦野 昭三  
調整番 伊藤 昭三  
3番 伊藤 昭三  
2番 大場 昭三  
触手 林田 昭三  
補欠 勝久 昭三

■第十二回全日本社会人実業団選手権大会 三馬ゴム(女子ナックルフォア) 惜しくも二位

■第十回全国高体連大会(滋賀県 琵琶湖)

男子フィックス

小樽千秋高校 準決勝

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 六位

■第十七回国民体育大会(岡山県 児島湖)

高校男子フィックス

小樽千秋高校 初出場で二位

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 通算三度目の全国優勝

高校女子ナックルフォア

小樽潮陵高校 準決勝

一般女子ナックルフォア

三馬ゴム 三位

この年、小樽千秋高校はナックルフォアの全国優勝で北海道スポーツ賞を受賞した。

<p>小樽千秋高校 (ナックルフォア)</p> <p>監督 小 友 友 友 友 友 コーチ 小 友 友 友 友 友 舵手 小 友 友 友 友 友 調整 小 友 友 友 友 友 3番 小 友 友 友 友 友 2番 小 友 友 友 友 友 触手 小 友 友 友 友 友 補欠 小 友 友 友 友 友</p> <p>脇本 勝見 渡野 伊藤 佐藤 伊藤 干場 高塚</p> <p>吉昌 友憲 孝己 克己 功己 久雄 静男 正登</p>	<p>小樽千秋高校 (フィックス)</p> <p>監督 小 友 友 友 友 友 コーチ 小 友 友 友 友 友 舵手 小 友 友 友 友 友 調整 小 友 友 友 友 友 5番 小 友 友 友 友 友 4番 小 友 友 友 友 友 3番 小 友 友 友 友 友 2番 小 友 友 友 友 友 触手 小 友 友 友 友 友</p> <p>石岡 下河原 赤石 越後 栗山 池内 林田 吉林</p> <p>栄夫 幸宏 一彦 喜彦 弘次 道次 宏次 勝歳 敦歳</p>
<p>三馬ゴム</p> <p>監督 小 友 友 友 友 友 コーチ 小 友 友 友 友 友 舵手 小 友 友 友 友 友 調整 小 友 友 友 友 友 3番 小 友 友 友 友 友 2番 小 友 友 友 友 友 触手 小 友 友 友 友 友 補欠 小 友 友 友 友 友</p> <p>高張 扇子 東子 島子 田子 濱子 菅原</p> <p>友三郎 洋子 靖子 幸子 久子 み子 とも子 栄子</p>	<p>小樽潮陵高校</p> <p>監督 小 友 友 友 友 友 コーチ 小 友 友 友 友 友 舵手 小 友 友 友 友 友 調整 小 友 友 友 友 友 3番 小 友 友 友 友 友 2番 小 友 友 友 友 友 触手 小 友 友 友 友 友</p> <p>乙坂 岸平 大平 渡辺 岡村 松原</p> <p>英司 悠二 和子 睦子 幸恵 由紀 卜毛 子子</p>

■第十三回全日本社会人実業団選手権大会 三馬ゴム(女子ナックルフォア) 三位

■第十一回全国高体連大会(新潟県 加茂湖)

男子フィックス

小樽潮陵高校 六位

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 三位

女子ナックルフォア

小樽潮陵高校 敗復

■第十八回国民体育大会(山口県 豊田湖)

高校男子フィックス

小樽潮陵高校 三位

高校男子ナックル

小樽千秋高校 三位

高校女子ナックルフォア

小樽潮陵高校 敗復

一般女子ナックルフォア

三馬ゴム 北海道女子クルー初の優勝

この年、日本漕艇協会八代目の会長として小樽中学出身の東海林武雄(元専売公社総裁)が就任

小樽潮陵高校  
(男子フィックス)

監督	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
コーチ	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
舵手	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
調整	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
5番	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
4番	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
3番	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
2番	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
触手	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉
補欠	乙坂	岸	林	会	岩	斎	寺	早	後	大	甲	倉	須	吉

和房 光俊 榮次 英治 雅雄 謙一 範良 新一 博光 悠二 英司

三馬ゴム

監督	高張	扇	東	島	田	菅	菅	桃
舵手	高張	扇	東	島	田	菅	菅	桃
調整	高張	扇	東	島	田	菅	菅	桃
3番	高張	扇	東	島	田	菅	菅	桃
2番	高張	扇	東	島	田	菅	菅	桃
触手	高張	扇	東	島	田	菅	菅	桃
補欠	高張	扇	東	島	田	菅	菅	桃

友三郎 洋子 靖子 幸子 とも子 栄子 真佐子

小樽潮陵高校  
(女子ナックルフォア)

監督	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳
コーチ	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳
舵手	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳
調整	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳
3番	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳
2番	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳
触手	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳
補欠	乙坂	岸	藤	渡	岡	佐	松	坂	柳

英司 悠二 美智子 睦子 幸恵子 幸子 睦子 睦子 睦子 睦子

■第十四回全日本社会人実業団選手権大会 三馬ゴム(女子ナックルフォア) 惜しくも二位

■第十二回全国高体連大会(岐阜県 恵那峡)

男子フィックス

小樽潮陵高校 七位

小樽千秋高校 準決勝

男子ナックルフォア

小樽千秋高校 九年振り二度目の優勝

女子ナックルフォア

小樽潮陵高校 大健闘三位

■第十九回国民体育大会(新潟県 加茂湖)

高校男子フィックス

小樽千秋高校 五位

高校男子ナックルフォア

小樽千秋高校 二位

高校女子ナックルフォア

小樽潮陵高校 四位

一般女子ナックルフォア

三馬ゴム 五位

なお、この年高体連で優勝した小樽千秋高校に対し二度目の北海道スポーツ賞が授与された。

<p>小樽千秋高校 (ナックルフォア)</p> <p>監督 小 針 石 大 山 大 水 高 菊 佐 浜 調子 岡 塚 形 塚 島 橋 谷 藤 田 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 3番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 整調 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 舵手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 触手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 補欠 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本</p> <p>秀吉 孝憲 俊二 厚二 温二 俊二 静男</p>	<p>小樽千秋高校 (フィックス)</p> <p>監督 小 針 石 大 山 大 水 高 菊 佐 浜 調子 岡 塚 形 塚 島 橋 谷 藤 田 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 3番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 整調 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 舵手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 触手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 補欠 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本</p> <p>栄夫 幸夫 正登 哲夫 幹夫 潔夫 政夫 健夫 政夫 麟太郎</p>
---	---

<p>三馬ゴム</p> <p>監督 小 針 石 大 山 大 水 高 菊 佐 浜 調子 岡 塚 形 塚 島 橋 谷 藤 田 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 3番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 整調 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 舵手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 触手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 補欠 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本</p> <p>友三郎 洋子 靖子 幸子 とも子 栄子 真佐子</p>	<p>小樽潮陵高校 (女子ナックルフォア)</p> <p>監督 小 針 石 大 山 大 水 高 菊 佐 浜 調子 岡 塚 形 塚 島 橋 谷 藤 田 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 3番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 整調 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 舵手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 触手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 補欠 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本</p> <p>英司 吉光 博夫 和夫 範一 謙一 雅一 英一 尚一 幸一 恵一 托子</p>	<p>小樽潮陵高校 (男子フィックス)</p> <p>監督 小 針 石 大 山 大 水 高 菊 佐 浜 調子 岡 塚 形 塚 島 橋 谷 藤 田 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 3番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 整調 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 舵手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 2番 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 触手 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 補欠 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本 野 本</p> <p>英司 吉光 博夫 和夫 範一 謙一 雅一 英一 尚一 幸一 恵一 托子</p>
--	--	--

昭和四十年  
(一九六五年)

■第八回全日本大学ナツクル選手権大会 北海学園大学優勝 小樽商科大学二位  
小樽潮陵高校出身者で固めた北海学園は見事優勝した。

■第十三回全国高体連大会 (大分県 夜明ダム)

男子フィックス

小樽千秋高校 五位

小樽潮陵高校 敗復

男子ナツクルフオア

小樽千秋高校 四位

■第二十回国民体育大会 (岐阜県 恵那峡)

高校男子フィックス

小樽千秋高校 七位

高校女子ナツクルフオア

小樽緑陵高校 敗復

一般女子ナツクルフオア

三馬ゴム 六位

小樽千秋高校のナツクルクルーは全日本選手権大会シエルフオアにオープン参加して三位に入賞した。  
小樽緑陵高校に女子ボート同好会誕生。

昭和四十一年  
(一九六六年)

■第十四回全国高体連大会 (青森県 大湊)

男子フィックス

小樽潮陵高校 敗復

男子ナツクルフオア

小樽千秋高校 準決勝

女子ナツクルフオア

小樽商業高校 (前小樽緑陵高校) 敗復

■第二一回国民体育大会 (大分県 夜明ダム)

高校男子フィックス

小樽潮陵高校 敗復

<p>小樽商科大学</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>石渡 鈴木 井上 宮城</p> <p>吉捷 弘二 勝攻</p>	<p>北海学園大学</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>倉内 長野 寺野 浅木</p> <p>和志 尚則 雅宏 勝雅</p>
--	---

<p>小樽緑陵高校</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>乙坂 杉庭 桜松 小沢 中田 石川 森山</p> <p>英司 知子 麻里 礼子 千晶 みどり 香子 笑子</p>	<p>小樽千秋高校 (フィックス)</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>針生 石村 奥谷 菊藤 佐藤 工藤 高崎 浜田</p> <p>栄夫 幸三 寿三 健夫 政治 暁通 広明 麟太郎</p>
---	--

<p>小樽潮陵高校</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>中村 清水 牧野 阿部 高部 高木 鈴木 館野 佐藤 藤野 中野 佐藤 中野 中野</p> <p>諦之 利明 義樹 国樹 高樹 剛利 眞春 和春 純一 隆昭 純一</p>
--

<p>小樽商業高校</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>乙坂 森山 桜庭 小松 荒川 石田 中沢</p> <p>英司 笑子 麻里 礼子 香子 みどり 千晶</p>	<p>小樽千秋高校</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>坂下 井藤 酒井 工藤 佐藤 早川 佐藤 藤川</p> <p>五郎 哲夫 暁通 治幸 孝夫 惠一</p>	<p>三馬ゴム</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>高張 藤原 斉村 松原 岡村 猪俣 太田</p> <p>友三 美智 卜子 幸恵 美江 京子</p>	<p>小樽千秋高校 (ナツクル)</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>脇本 酒井 池尻 辻本 大塚 佐藤 山形</p> <p>秀吉 哲夫 俊治 厚夫 幹夫 惠一 哲夫</p>	<p>小樽潮陵高校</p> <p>監督 舵手 調整 番 番 手</p> <p>須田 石野 中野 高野 高野 高野 高野</p> <p>房弘 幸司 謙司 高野 和野 和野 邦明</p>
--	---	--	--	---

昭和四二年  
(一九六七年)

■第十五回全国高体連大会 (福井県 久々子湖)

男子ナックルフォア  
小樽千秋高校 準々決勝

女子ナックルフォア  
小樽商業高校 大健闘三位

■第二二回国民体育大会 (埼玉県 戸田)

高校女子ナックルフォア  
小樽商業高校 準決勝

一般女子ナックルフォア  
三馬ゴム 六位

この年、小樽商業高校ボート同好会が正式に部として認められた。

小樽千秋高校

監督 坂井五郎  
舵手 酒井哲夫  
整調 佐藤博孝  
3番 半田孝夫  
2番 早川久夫  
舳手 奥村

坂井五郎  
酒井哲夫  
佐藤博孝  
半田孝夫  
早川久夫  
奥村

坂井五郎  
酒井哲夫  
佐藤博孝  
半田孝夫  
早川久夫  
奥村

坂井五郎  
酒井哲夫  
佐藤博孝  
半田孝夫  
早川久夫  
奥村

小樽商業高校

監督 乙坂英司  
舵手 森洋子  
整調 荒川香子  
3番 小美紀子  
2番 高橋美子  
舳手 西野千寿子  
補欠 "

乙坂英司  
森洋子  
荒川香子  
小美紀子  
高橋美子  
西野千寿子

乙坂英司  
森洋子  
荒川香子  
小美紀子  
高橋美子  
西野千寿子

三馬ゴム

監督 高張友三郎  
舵手 斎藤美智子  
整調 岡村智子  
3番 深井恵子  
2番 富野美子  
舳手 明子

高張友三郎  
斎藤美智子  
岡村智子  
深井恵子  
富野美子  
明子

高張友三郎  
斎藤美智子  
岡村智子  
深井恵子  
富野美子  
明子

小樽商業高校

監督 乙坂英司  
舵手 古川あけみ  
整調 河原玲子  
3番 若杉美子  
2番 鎌田美子  
舳手 大金串  
補欠 頼子

乙坂英司  
古川あけみ  
河原玲子  
若杉美子  
鎌田美子  
大金串

乙坂英司  
古川あけみ  
河原玲子  
若杉美子  
鎌田美子  
大金串

小樽工業高校

監督 坂木五郎  
舵手 鈴木修樹  
整調 岩谷正樹  
3番 吉沢正樹  
2番 原藤正樹  
舳手 工藤

坂木五郎  
鈴木修樹  
岩谷正樹  
吉沢正樹  
原藤正樹  
工藤

坂木五郎  
鈴木修樹  
岩谷正樹  
吉沢正樹  
原藤正樹  
工藤

■本年をもって、国民体育大会からフィックス (固定席艇) 種目が廃止される  
明治の時代より小樽伝統の種目として数々の栄光ある戦績を残し、ボート小樽の名声を全国に轟かせてきただけに惜しまれるところである。昭和四五年には高体連大会の種目からも廃止された。

昭和四三年  
(一九六八年)

■第十六回全国高体連大会 (広島県 宮島口)

女子ナックルフォア  
小樽商業高校 輝く全国初優勝 遂に女子優勝旗が津軽海峡を渡る

■第二三回国民体育大会 (福井県 久々子湖)

高校男子ナックルフォア  
小樽工業高校 (前小樽千秋高校) 敗復

高校女子ナックルフォア  
小樽商業高校 惜しくも二位

■本年をもって、国民体育大会からフィックス (固定席艇) 種目が廃止される

昭和四四年  
(一九六九年)

■第十七回全国高体連大会 (静岡県 相模湖)

女子ナックルフォア

小樽商業高校 四位

小樽工業高校 準々決勝

■第二四回国民体育大会 (長崎県 形上湾)

高校男子ナックルフォア

小樽工業高校 準々決勝

高校女子ナックルフォア

小樽商業高校 四位

一般女子ナックルフォア

三馬ゴム 四位

この年から女子ナックルフォアは1000m競漕となる。

小樽工業高校は造船科にて建造中のナックルフォア「七星」を進水した。

昭和四五年  
(一九七〇年)

■第二十回社会人実業団選手権大会 三馬ゴム二位

■第十三回全日本大学ナックル選手権大会 小樽商大二位

■第十八回全国高体連大会 (大阪府 浜寺)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準決勝

■第二五回国民体育大会 (岩手県 錦秋湖)

高校男子ナックルフォア

小樽工業高校 七位

一般女子ナックルフォア

三馬ゴム 一位

この年、体育の日に当協会役員岸浩三、吉田庚子郎、小林定正、兵藤勉、箕輪正治、榎本吉夫の六氏が小樽体育協会体育功労者として表彰された。

十一月二六日、小樽漕艇協会創立五〇周年記念式典が盛大に挙行された。

この年、カナダで開催された第二回世界漕艇選手権大会に日本代表東レクルーの一員として安達温二(小樽千秋高校出身)が出場した。

小樽商大					
監督	舵手	調整	三番	二番	触手
安立	青木	山岸	角掛	池部	村井
禎一	仁哉	康弘	謙一	吉一	

小樽工業高校 (男子ナックルフォア)					
監督	舵手	調整	三番	二番	触手
坂下	鈴木	原木	岩谷	工藤	相内
五郎	富雄	嘉法	修一	正修	巨修

小樽商業高校					
監督	舵手	調整	三番	二番	触手
藤地	佐原	菊杉	河杉	若保	金丸
晃一	光子	玲美	久美	裕理	真子

三馬ゴム					
監督	コーチ	舵手	調整	三番	二番
原野	上野	水野	荒川	若杉	鎌田
トモ子	昭三	寿枝	香洋	久美	美紀

小樽工業高校					
監督	コーチ	舵手	調整	三番	二番
坂下	小林	相内	中村	千葉	天笠
五郎	昌広	茂貴	巨三	栄三	喜代志

三馬ゴム					
監督	舵手	調整	三番	二番	触手
張	高田	秋川	荒原	松野	富野
友三郎	順子	香子	トモ子	美紀	明子

小樽工業高校 (女子ナックルフォア)					
監督	コーチ	舵手	調整	三番	二番
坂下	竹川	小川	北川	吉田	敦賀
五郎	珠美	寿子	智子	真子	千代美

昭和四六年  
(一九七二年)

■第十九回全国高体連大会 (愛媛県 鹿野川湖)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準決勝

■第二六回国民体育大会 (和歌山県 紀ノ川)

高校男子ナックルフォア

小樽工業高校 予選

高校女子ナックルフォア

小樽商業高校 予選

一般女子ナックルフォア

小樽ローイングクラブ 二位

この年、当協会顧問箕輪正治、北海道体育振興功労者として北海道スポーツ賞を受賞した。  
小樽体育協会体育功労者表彰 石河吉彦

昭和四七年  
(一九七二年)

■第二十回全国高体連大会 (福島県 荻野)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準決勝

■第二七回国民体育大会 (鹿児島県 大隅湖)

高校女子ナックルフォア

小樽商業高校 五位

一般女子ナックルフォア

小樽ローイングクラブ 結成二年目で全国初優勝

このクルーは、三馬ゴムクルーと小樽商業・小樽千秋OGとの混成のクラブクルーである。  
職場を異にしたの見事な優勝で久々に小樽に朗報をもたらした。

小樽体育協会体育功労者表彰 高張友三郎、宮川忠、上野昭三

小樽ローイングクラブ						
補欠	舳手	2番	3番	整調	舵手	監督
菊地	久保	鎌田	若杉	富野	敦賀	松原
光子	裕美	美紀	久美	明子	千代	トモ子

小樽工業高校						
補欠	舳手	2番	3番	整調	舵手	監督
漆間	相内	藤田	小松	堤山	横山	天笠
哲彦	巨也	慎高	一高	信一	公雄	雅夫

小樽商業高校						
補欠	舳手	2番	3番	整調	舵手	監督
高橋	東谷	岩城	平山	佐々木	高木	柴崎
智子	希有	啓子	敦子	公子	久美	雅人

小樽工業高校						
補欠	舳手	2番	3番	整調	舵手	監督
田畑	小松	高松	漆清	堤間	小林	坂下
英夫	一高	勝高	哲彦	信一	敬史	五郎

小樽ローイングクラブ						
舳手	2番	3番	整調	舵手	監督	
久保	鎌田	若杉	富野	菊地	松原	
裕美	美紀	久美	明子	光子	トモ子	

小樽商業高校						
補欠	舳手	2番	3番	整調	舵手	監督
長岡	平山	金山	大丸	佐山	高木	柴崎
澄子	敦子	真知	則子	祐子	智人	雅人

昭和四八年  
(一九七三年)

■第二一回全国高体連大会 (三重県 奥伊勢湖)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 八年振りの二位

小樽潮陵高校 準々決勝

女子ナックルフォア

小樽商業高校 八位

■第二八回国民体育大会 (千葉県 小見川)

高校男子ナックルフォア

小樽工業高校 三位

一般女子ナックルフォア

小樽ローイングクラブ 三位

小樽体育協会体育功労者表彰 畑野英明

この年、ソビエトで開催された第五七回ヨーロッパ選手権大会に日本代表東レ滋賀クルーの一員として安達温二(小樽千秋高校出身 シングルスカル)、原嘉法(小樽工業高校出身 舵手付きフォア2番)の二人が出場した。

昭和四九年  
(一九七四年)

■第二九回国民体育大会 (茨城県 潮来)

高校男子ナックルフォア

小樽工業高校 準々決勝

小樽体育協会体育功労者表彰 工藤源次、工藤竹一

この年、スイスで開催された第四回漕艇世界選手権大会エイト種目

日本代表東レ滋賀クルーの整調として原嘉法(小樽工業高校出身)が出場した。

<p>小樽商業高校</p> <p>補 触 2 3 整 舵 監 欠 手 番 番 調 手 督</p> <p>浜東原岩佐松柴 田谷 城々井崎 博希優啓公由雅 子有子子子子美人</p>	<p>小樽工業高校</p> <p>補 触 2 3 整 舵 監 欠 手 番 番 調 手 督</p> <p>土木石南漆高小坂 井下田 間清林下 喜信幸和哲勝敬五 一弘雄男彦 史郎</p>
--	---

<p>小樽ローイングクラブ</p> <p>触 2 3 整 舵 監 手 番 番 調 手 督</p> <p>大鎌若富敦松 山田杉野賀原 則美久明千ト 子紀美子代毛 子子子子美子</p>	<p>小樽潮陵高校</p> <p>補 触 " 2 " 3 整 舵 コー 監 欠 手 " 番 " 番 調 手 丁 督</p> <p>練吉山福松樋福和木堀三 合田田田山口田田下江村 泰晃真喜敏史喜雅海忠治 明一嗣博勝郎博夫弘彦夫</p>
--	--

<p>小樽工業高校</p> <p>補 触 2 3 整 舵 コー 監 欠 手 番 番 調 手 丁 督</p> <p>土伊坂木久上坂 井島本下津村下 喜輝光信智隆五 一次隆弘 司郎</p>
--

昭和五十年  
(一九七五年)

■第三三回全国高体連大会 (埼玉県 戸田)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準々決勝

小樽潮陵高校 予選

■第三十回国民体育大会 (三重県 奥伊勢湖)

成年女子ナックルフォア

小樽漕友会 初出場五位

この年より国民体育大会開催要綱が変更され東北ブロック予選(第一回北日本ブロック大会)が開始された。

小樽工業高校

監督 小坂下 隆司  
舵手 上村 智隆  
調整 久津 間  
3番 坂本 間  
2番 木下 信弘  
舳手 伊島 輝次

小樽潮陵高校

監督 堀江 忠彦  
舵手 小石 海弘  
調整 後藤 明  
3番 永井 正彦  
2番 中野 文彦  
舳手 裕晴

小樽漕友会

監督 鎌田 美紀子  
舵手 大山 合子  
調整 若杉 則子  
3番 佐々木 美子  
2番 敦賀 千代美  
舳手 美

昭和五十一年  
(一九七六年)

■第二四回全国高体連大会 (石川県 津幡)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準決勝

■第三一回国民体育大会 (佐賀県 松浦川)

少年男子ナックルフォア

小樽工業高校 六位

成年女子ナックルフォア

小樽漕友会 堂々の三位

この年、北海製罐艇庫前海面が色内埠頭として埋立られることになり

艇庫が近い将来使用不能となるので早急に艇庫建設をする必要に迫られ艇庫建設委員会を発足させた。

小樽工業高校

監督 小坂下 善生  
舵手 室谷 隆  
調整 松本 裕隆  
3番 伊岸 輝次  
2番 宮越 義隆  
舳手 宮越 義隆

小樽漕友会

監督 鎌田 美紀子  
舵手 大山 合子  
調整 若杉 則子  
3番 佐々木 美子  
2番 敦賀 千代美  
舳手 美

昭和五二年  
(一九七七年)

昭和五三年  
(一九七八年)

■第三回北日本ブロック大会開催される。

■第三三回国民体育大会（長野県 下諏訪町）

成年男子舵手つきフォア

小樽貯金クルー 準々決勝

■新艇庫落成

十一月四日小樽市営艇庫落成式が挙行された。本艇庫建設は艇庫建設委員会の努力により実現したものである。北海製罐の艇庫は昭和六年に建設されたのであるから、実に四七年間小樽漕艇発展の為に多大な貢献をしたのである。

この年、吉村伝次郎会長辞任し箕輪正治が就任

小樽体育協会体育功労者表彰 勝山義利、浅木武雄

小樽工業高校ボート部創部三〇周年記念式典が行われた。

昭和五四年  
(一九七九年)

■第二七回全国高体連大会（滋賀県 琵琶湖）

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準決勝

■第三四回国民体育大会（宮崎県 富田浜）

少年男子ナックルフォア

小樽工業高校 二次敗復

昭和五五年  
(一九八〇年)

■第二八回全国高体連大会（愛媛県 鹿野川湖）

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準々決勝

■小樽市勝納漕艇研修センター落成

小樽漕艇協会創立六十周年記念事業に併せて合宿所建設の陳情を行っていたところ、

志村市長はじめ市当局者の理解によって艇庫並びに建設された。

この年、小樽漕艇協会創立六〇周年を迎え記念式典、六〇年史の編纂、記念品作成等の記念事業を行った。

小樽工業高校

監督 藤下 舵手 田崎 整調 林 3番 野 2番 阿部 舳手 伊藤 補欠 浅川

五祐和洋幹正登 土豊一也

小樽工業高校

監督 坂崎 舵手 藤村 整調 小田 3番 戸田 2番 阿部 舳手 伊藤 補欠 藤部

五祐和洋聡祐五 土豊一也

小樽貯金

監督 後藤 舵手 坂下 整調 相内 3番 伊藤 2番 渡辺 舳手 和田 補欠

清五 藤下 巨野 厚内 真藤 英治 吉生

昭和五六年  
(一九八一年)

■第二九回全国高体連大会 (茨城県 潮来)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 敗復

■第三六回国民体育大会 (滋賀県 琵琶湖)

成年男子シングルスカル

和田格人 (小樽潮陵高校出身) 準決勝

この年、おたる潮まつり協賛第一回市民レガッタが開催された。

昭和五七年  
(一九八二年)

■第三十回全国高体連大会 (鹿児島県 大隅湖)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 敗復

昭和五八年  
(一九八三年)

■第三一回全国高体連大会 (愛知県 愛知池)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 準々決勝

七月三一日おたる潮まつり協賛第二回市民レガッタが開催され、市内の会社関係、高校大学の職員チームなど二四チームが出場する盛況であった。

小樽工業高校
〃 補 舳 2 3 整 舵 二監 欠 手 番 番 調 手 督
三青小大高和遠坂 好江山聖橋田藤下
邦敏岳拓和昌浩五 之克志 正士嗣郎

小樽工業高校
〃 補 舳 2 3 整 舵 二監 欠 手 番 番 調 手 督
小大高和真尾本坂 山聖田田光崎間下
岳拓万昌英亨伸五 志 義士樹 一郎

小樽工業高校
〃 補 舳 2 3 整 舵 二監 欠 手 番 番 調 手 督
和本伊尾真中浅坂 田間藤崎光野川下
昌伸登亨英幹讓五 士一 樹也 郎

昭和五十九年  
(一九八四年)

■第三二回全国高体連大会 (秋田県 大湯村)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 三位

男子舵手つきフォア

小樽工業高校 八位

■第三九回国民体育大会 (奈良県 月ヶ瀬湖)

成年男子ナックルフォア

小樽市消防署 七位

この年、箕輪正治会長が辞任し加藤哲郎が就任

昭和六十年  
(一九八五年)

■第三三回全国高体連大会 (石川県 津幡)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 五位

■第四十回国民体育大会 (鳥取県 錦海)

少年男子ナックルフォア

小樽工業高校 二次敗復

成年男子ナックルフォア

小樽市消防署 二次敗復

小樽体育協会体育功労者表彰 嶋田斎

昭和六一年  
(一九八六年)

■第四一回国民体育大会 (山梨県 河口湖)

成年男子ナックルフォア

小樽市消防署 二次敗復

小樽体育協会体育功労者表彰 松原良寿

この年、当協会坂下五郎副理事長 (小樽工業高校監督)、チエコのプラハで開催された

FISAジュニア世界選手権大会の日本代表監督として出場した。

寺田雅則 (小樽潮陵高校出身) 韓国のソウルで開催されたアジア大会に

全日本男子舵手付きペアのコーチとして出場した。

小樽工業高校 (ナックルフォア)
監督 舵手 調整 3番 2番 舳手 補欠
坂下 今田 小江 青江 大村 秋聖 森場
五志 誠岳 敏一 拓智 直樹

小樽工業高校
監督 舵手 調整 3番 2番 舳手 補欠
坂下 三好 秋江 青江 下村 寺島 森村
五郎 邦之 智克 敏等 一也 哲之 直樹

小樽工業高校 (舵手付きフォア)
監督 舵手 調整 3番 2番 舳手
坂下 三好 秋江 寺島 堀村
五郎 邦之 智克 敏等 直史

小樽市消防署
監督 舵手 調整 3番 2番 舳手 補欠
坂木 樽田 小土林 池下 尾崎
哲己 克夫 和豊 明一 靖弘 享弘

小樽市消防署
監督 舵手 調整 3番 2番 舳手 補欠
阿部 水上 小土林 池下 木田 阿部
幸文 雅一 和豊 明一 靖弘 栄治

小樽市消防署
監督 舵手 調整 3番 2番 舳手 補欠
阿部 鹿田 小土林 池下 木田 寺田
幸弘 康一 和豊 明一 靖弘 栄治

昭和六二年  
(一九八七年)

■第三五回全国高体連大会 (北海道 網走湖)

男子ナックルフォア

小樽桜陽高校 大健闘六位

小樽体育協会体育功労者表彰 岸悠二

この年、小樽潮陵高校ボート部創部八十周年記念式典が盛大に行われた。

昭和六三年  
(一九八八年)

七月三一日おたる潮まつり協賛第七回市民レガッタが開催され南大夕張からの参加も含め二二チームが出場する盛況であった。

平成元年  
(一九八九年)

■第三七回全国高体連大会 (愛媛県 鹿野川湖)

男子ナックルフォア

小樽工業高校 敗復

■第四四回国民体育大会 (北海道 網走湖)

成年男子ナックルフォア

北桜会 六位

平成二年  
(一九九〇年)

■第四五回国民体育大会 (福岡県 遠賀川)

成年男子ナックルフォア

北桜会 準決勝

少年女子シングルスカル

小樽双葉高校 敗復

漕手 寺田 みやび

この年、加藤哲郎会長辞任し嶋田斎が就任した。

平成三年  
(一九九一年)

■第四六回国民体育大会 (石川県 津幡)

成年男子ダブルスカル

茨戸選抜 準決勝

監督 村橋 司 整調 石森 裕康 軸手 滝野 元信

平成四年  
(一九九二年)

■第四十回全国高体連大会 (宮崎県 富田浜)

男子舵手付フォア

小樽工業高校 準決勝

小樽工業高校

監督 山田 桶 整調 上野 3番 2番 土田 幸裕 貴之 博也 慎文 弘康

北桜会

監督 寺田 整調 小林 大和 青森 石田 大聖 山田 拓弘 裕克 敏正 忠弘

北桜会

監督 寺田 整調 小林 大和 青森 山田 大聖 梅原 雅史 敬史 満正 和範 康史 拓史 世史

小樽桜陽高校

監督 堂端 高井 向井 藤原 矢野 久野 大塚 中井 幸史 武夫 伸真 俊晴 浩志 英治 健治

小樽工業高校

監督 山田 整調 新保 安藤 横山 梅原 越前 幸広 貴夫 隆宣 芳明 卓也 貴夫

平成六年  
(一九九四年)

■第四九回国民体育大会（愛知県 愛知池）  
成年男子ダブルスカル  
北海道銀行・北桜会 準決勝

監督 後藤 榮治 整調 疋田 宣章 軸手 石森 裕康

平成七年  
(一九九五年)

■全日本軽量級選手権大会  
エイト  
小樽商科大学 6位

■第八回ねんりんピック95島根（美保関町）

高齡者男子ナックルフォア  
小樽漕艇クラブ 全国優勝

平成八年  
(一九九六年)

■第四四回全国高体連大会（山梨県 河口湖）  
女子ダブルスカル  
小樽桜陽高校 準決勝

監督 吉尾 洋 整調 中条 ひかり 軸手 岩崎 明子

■第五一回国民体育大会（広島県 芦田川）

成年男子ダブルスカル  
小樽ローイングクラブ 準決勝

監督 柳内 敦 整調 吉尾 洋 軸手 石森 裕康

■全日本軽量級選手権大会

エイト  
小樽商科大学 6位

平成九年  
(一九九七年)

■第八回マスターズレガッタ（愛知池）  
実年60才代男子ナックルフォア  
小樽漕艇クラブ 全国優勝

小樽漕艇クラブ  
監督 嶋田 岸本 舵手 木下 整調 本間 三番 沖野 二番 林野 舳手 右代 補欠 勝司  
齋藤 悠二 勝司 齋藤 悠二 勝司 齋藤 悠二 勝司 齋藤 悠二 勝司

小樽漕艇クラブ  
監督 嶋田 岸本 舵手 木下 整調 本間 三番 沖野 二番 林野 舳手 右代 補欠 勝司  
齋藤 悠二 勝司 齋藤 悠二 勝司 齋藤 悠二 勝司 齋藤 悠二 勝司 齋藤 悠二 勝司

■第四六回全国高体連大会 (香川県 府中湖)

男子シングルスカル

小樽桜陽高校 予選

漕手 宮本裕明

■第五三回国民体育大会 (神奈川県 相模湖)

少年男子シングルスカル

小樽桜陽高校 予選

漕手 宮本裕明

■第十一回ねんりんピック98愛知・名古屋 (愛知池)

高齢者男子ナックルフォア

小樽漕艇クラブ 準優勝

■第九回マスターズレガッタ (愛知池)

実年60才代男子ナックルフォア

小樽漕艇クラブ 二年連続優勝

小樽体育協会体育功労者表彰 牧野義明

小樽漕艇クラブ  
(マスターズレガッタ)

補 舳 2 3 整 舵 監  
欠 手 番 番 調 手 督

佐林沖本木岸嶋  
々 野間下 田

木  
忠千法虎良悠齋  
男治秀勝三二

小樽漕艇クラブ  
(ねんりんピック)

補 舳 2 3 整 舵 監  
欠 手 番 番 調 手 督

脇右林沖本木岸嶋  
本代 野間下 田

秀勝千法虎良悠齋  
吉司治秀勝三二





平成十五年  
(二〇〇三年)

■第十四回全国高等学校選抜大会（静岡県浜松市 天竜ボート場）

男子クオドルプル

小樽桜陽高校 敗復

男子シングルスカル

小樽桜陽高校 予選

女子ダブルスカル

小樽桜陽高校 敗復

監督 吉尾 洋 整調 工藤 由貴 軸手 鎌田 のぞみ

■第五一回全国高体連大会（長崎県 形上湾）

女子ダブルスカル

小樽桜陽高校 準々決勝

監督 吉尾 洋 整調 工藤 由貴 軸手 鎌田 のぞみ

■第五八回国民体育大会（静岡県 天竜）

少年女子クオドルプル

北海道選抜 準決勝

漕手 工藤 由貴 小樽桜陽高校

小樽体育協会体育功労者表彰 林博光

平成十六年  
(二〇〇四年)

■第十五回全国高等学校選抜大会（静岡県浜松市 天竜ボート場）

男子ダブルスカル

小樽桜陽高校 敗復

監督 吉尾 洋 整調 綱岸 佑太 軸手 山崎 裕貴

女子シングルスカル

小樽桜陽高校 敗復

漕手 加治尚美

■第五二回全国高体連大会（広島県 芦田川）

男子シングルスカル

小樽桜陽高校 敗復

漕手 綱岸 佑太

この年、嶋田齋会長辞任し柳内敦が就任

小樽体育協会体育功労者表彰 柳内敦 大滝俊次 林勝歳

小樽桜陽高校

監督 吉尾 洋 整調 工藤 由貴 軸手 鎌田 のぞみ

吉尾 藤 佐 小 田 小 田 小 田 小 田  
上 瀬 野 村 藤 尾

洋 良 太 裕 秀 亮  
昭 一 基 一

平成十七年  
(二〇〇五年)

小樽体育協会体育功労者表彰 伊藤功 右代勝司 木下良三

平成十八年  
(二〇〇六年)

■第十七回全国高等学校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

女子シングルスカル

小樽桜陽高校 予選

漕手 多田悦子

■第六一回国民体育大会 (兵庫県 城崎円山川)

少年男子クオドルプル

北海道選抜 準決勝

3番 関子要 小樽桜陽高校

少年女子シングルスカル

小樽桜陽高校 予選

漕手 多田悦子

小樽体育協会体育功労者表彰 佐藤博 本間虎勝

この年、小樽潮陵高校ボート部創部一〇〇周年を迎え記念式典、記念事業が行われた。

平成十九年  
(二〇〇七年)

■第十八回全国高等学校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

女子ダブルスカル

小樽潮陵高校 三二年振りの全国大会出場

■第五五回全国高体連大会 (佐賀県 松浦川)

女子クオドルプル

小樽桜陽高校 予選

■第六二回国民体育大会 (秋田県 大湯)

少年男子ダブルスカル

北海道選抜 6位

整調 関子要 小樽桜陽高校

小樽体育協会体育功労者表彰 林千治 後藤榮治 須田房則

<p>小樽桜陽高校</p> <p>監督 舵手 整調 3番 2番 舳手</p> <p>中山金赤鈴坂 川崎井平木元</p> <p>亜真菜夕り光 香緒那貴な 音</p>	<p>小樽潮陵高校</p> <p>部長 監督 整調 軸手 漕手</p> <p>高笠小山塩 橋谷川本谷</p> <p>い奈郁耕智 の美美三 り</p>
---	--

平成二十年  
(二〇〇八年)

■第十九回全国高等学校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

男子ダブルスカル

小樽桜陽高校 予選

監督 坂元光 整調 木又祥 軸手 後藤隆讓

女子クォドルプル

小樽桜陽高校 予選

■第五六回全国高体連大会 (埼玉県 戸田)

女子クォドルプル

小樽桜陽高校 予選

■第六三回国民体育大会 (大分県 菊池班蛇口湖)

少年女子クォドルプル

小樽桜陽高校 予選

小樽体育協会体育功労者表彰 山中俊博 山崎正

■第二十回全国高等学校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

女子クォドルプル

小樽桜陽高校 予選

■第五七回全国高体連大会 (滋賀県 琵琶湖)

女子クォドルプル

小樽桜陽高校 準々決勝

協会創立九〇周年の記念事業として木製ナックルフォア3艇購入した。

小樽体育協会体育功労者表彰 越後弘 本田美紀子

小樽桜陽高校  
(高等学校選抜)  
監督 舵手 整調 番番 2番 3番  
坂元光 須藤本 小坂島  
りな 菜月 萌々 奈衣 恵

小樽桜陽高校  
(全国高体連)  
監督 舵手 整調 番番 2番 3番  
坂元光 須藤本 小坂島  
りな 菜月 萌々 奈衣 恵

小樽桜陽高校  
(全国高体連)  
監督 舵手 整調 番番 2番 3番  
坂元光 須藤本 小坂島  
りな 菜月 真緒

小樽桜陽高校  
(国民体育大会)  
監督 舵手 整調 番番 2番 3番  
坂元光 須藤本 小坂島  
りな 菜月 奈衣 恵

小樽桜陽高校  
(高等学校選抜)  
監督 舵手 整調 番番 2番 3番  
坂元光 須藤本 小坂島  
りな 菜月 真緒 香音

平成二二年  
(二〇一〇年)

■第五八回全国高体連大会（沖縄県 塩屋湾）

男子シングルスカル

小樽桜陽高校 準々決勝

漕手 山本瑛也

女子シングルスカル

小樽潮陵高校 準々決勝

漕手 小林眞弓

■第六五回国民体育大会（千葉県 小見川）

少年男子舵手付きクォドルプル

北海道選抜 予選

<sup>2</sup>番 山本瑛也 小樽桜陽高校

少年女子ダブルスカル

北海道選抜 準決勝

整調 小林眞弓 小樽潮陵高校

小樽体育協会体育功労者表彰

佐藤和春 倉地香洋子

小樽漕艇協会創立九〇周年記念式典挙行、九〇年史編纂

平成二三年  
(二〇一一年)

■第五九回全国高体連大会（岩手県 田瀬湖）

女子ダブルスカル

小樽潮陵高校 準々決勝

整調 小林眞弓 舳手 小笠原未希

■第六六回国民体育大会（山口県 豊田湖）

少年女子シングルスカル

小樽潮陵高校 三位

漕手 小林眞弓

小樽体育協会体育功労者表彰

田畑英夫 森谷とし子

平成二四年  
(二〇二二年)

■第六〇回全国高体連大会（新潟県 阿賀野川）

男子子シングルスカル  
小樽潮陵高校 予選

漕手 藤崎義騎

■第六七回国民体育大会（岐阜県 川辺漕艇場）

少年男子シングルスカル  
小樽潮陵高校 準決勝

漕手 藤崎義騎

成年女子シングルスカル  
北海道選抜 準決勝

漕手 小林眞弓

■第五回全日本マスターズレガッタ（埼玉県 戸田ボートコース）

女子ナックルフォア カテゴリーF（60〜64歳）  
小樽ローイングクラブ 優勝

小樽体育協会体育功労者表彰 久津間智 鈴木剛

平成二五年  
(二〇一三年)

■第二四回全国高校選抜大会（静岡県浜松市 天竜ボート場）

男子子ダブルスカル  
小樽桜陽高校 予選

整調 八重樫洋佑 触手 山田拓也

男子シングルスカル  
小樽桜陽高校 予選

漕手 土橋伸太郎

女子ダブルスカル  
小樽桜陽高校 予選

整調 阿部元華 触手 大橋直佳

小樽体育協会体育功労者表彰 齋藤久美子 齋藤明子

小樽ローイング  
クラブ

舵手 整調 3番 2番 触手

中村 倉地 齋藤 井川

栄介 香洋子 久美子 明子 トモ子

平成二六年  
(二〇一四年)

■第二五回全国高校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

女子ダブルスカル

小樽桜陽高校 予選

整調 佐藤 春菜 触手 会田 理緒菜 補漕 大橋 直佳

■第六二回全国高体連大会 (山梨県 富士河口湖)

女子クオドルプル

小樽桜陽高校 予選

■第七回全日本マスターズレガッタ (群馬県 城沼ボートコース)

女子ナックルフォア カテゴリーF(60〜64歳)

小樽ローイングクラブ 優勝

小樽体育協会体育功労者表彰 菊地光子 吉川千代美 小林公子

小樽桜陽高校

補漕 触手 2番 3番 整調 舵手

近藤 会田 大沼 鈴木 佐藤 大橋

美有 理緒 諒桂 優花 春菜 直佳

小樽ローイング  
クラブ

触手 2番 3番 整調 舵手

井川 畠中 齋藤 倉地 木下

トモ子 由利子 明子 香洋子 良三子

平成二七年  
(二〇一五年)

■第二六回全国高校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

女子クオドルプル

小樽桜陽高校 予選

■第六二回全国高体連大会 (兵庫県 円山川)

女子舵手付クオドルプル

小樽桜陽高校 準々決勝

■第七〇回国民体育大会 (滋賀県 琵琶湖漕艇場)

成年男子舵手付フォア

北海道選抜 敗復

成年女子シングルスカル

北海道選抜 敗復

少年女子ダブルスカル

北海道選抜 予選

少年女子舵手付クオドルプル

北海道選抜 予選

整調 鈴木 優花 舵手 近藤 美有 (小樽桜陽高校)

成年女子ダブルスカル

北海道選抜 5位

整調 小林 眞弓 (小樽潮陵高校OG)

小樽桜陽高校  
(高校選抜)

触手 2番 3番 整調 舵手

近藤 鈴木 佐藤 大沼 会田

美有 優花 春菜 諒桂 理緒 奈

小樽桜陽高校  
(高体連)

補漕 触手 2番 3番 整調 舵手

近藤 佐藤 鈴木 大沼 会田 富田

美有 春菜 優花 諒桂 理緒 智帆 奈

北海道選抜  
(小樽商科大学)

触手 2番 3番 整調 舵手

大塚 江口 高木 安生

慎也 伸樹 大樹 颯悦 周悦

■第八回全日本マスターズレガッタ (島根県 さくらおろち湖ボートコース)

女子ナックルフォア カテゴリーF(60〜64歳)

小樽ローイングクラブ 優勝

小樽ローイング  
クラブ

触手 2番 3番 整調 舵手

山口 倉地 齋藤 井川

理喜子 香洋子 明子 智恵子 トモ子

平成二八年  
(二〇一六年)

■第二七回全国高校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

女子ダブルスカル

小樽桜陽高校 予選

整調 鈴木優花 軸手 大沼諒桂

女子シングルスカル

小樽桜陽高校 予選

漕手 近藤美有

■第七一回国民体育大会 (岩手県 田瀬湖ボート場)

成年女子ダブルスカル

北海道選抜 予選

整調 小林眞弓 (小樽潮陵高校OG)

少年女子ダブルスカル

北海道選抜 準決勝

軸手 鈴木優花 (小樽桜陽高校)

少年女子舵手付クオドルプル

北海道選抜 準決勝

軸手 大沼諒桂 (小樽桜陽高校)

この年柳内敦会長が辞任し大滝俊次が会長に就任

小樽体育協会体育功労者表彰 石田幸弘

平成二九年  
(二〇一七年)

■第二八回全国高校選抜大会 (静岡県浜松市 天竜ボート場)

女子シングルスカル

小樽潮陵高校 予選

漕手 前田陽

■第七二回国民体育大会 (愛媛県 田瀬湖ボート場)

成年男子舵手付フォア

北海道選抜 敗復

軸手 末吉祐馬 (小樽商科大学)

平成三〇年  
(二〇一八年)

■第七三回国民体育大会 (福井県 久々子湖漕艇場)

成年女子ダブルスカル

北海道選抜 敗復

軸手 田畑七奈 (小樽商科大学)

少年女子舵手付クオドルプル

北海道選抜 予選

軸手 本庄一華 (小樽桜陽高校)

日本ボート協会有功者表彰 柳内敦

令和元年  
(二〇一九年)

■第七四回国民体育大会（茨城県 潮来市立ボートコース場）

成年女子舵手付クォドルプル

北海道選抜 予選

3番 田畑七奈（小樽商科大学）

少年男子舵手付クォドルプル

北海道選抜 予選

2番 高嶋悠（小樽潮陵高校）

令和二年  
(二〇二〇年)

■第六八回全国高体連大会（大阪府 浜寺）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度全国高等学校総合体育大会が中止となる。

■第七五回国民体育大会（鹿児島県 鹿屋）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度国民体育大会が中止となる。

2020東京オリンピック1年延期となる。

小樽漕艇協会創立一〇〇周年を迎へ一〇〇年史『明治から令和小樽漕艇百年の歩み』を編纂する。

記念式典は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とする。